症 例

胸腔鏡で切除した子宮筋腫の肺転移の1例

市立岡崎病院心臓血管呼吸器外科

浅 岡 峰 雄 佐々木 通 雄 増 本 弘 関 章

患者は59歳の女性。1981年に子宮筋腫のため子宮全摘除術を受けている。1989年に胸部 X 線写真の異常を指摘されたが放置していた。1993年11月の CT などの精査では右肺に4個、左肺に2個の腫瘍が認められた。この6個の腫瘍はすべて胸膜直下付近に存在していた。1994年1月に胸腔鏡下に切除術を行った。CT で診断された6個の腫瘍を容易に確認し、YAG レーザーを用いて切除できた。術後経過は良好であった。

索引用語：転移性子宮筋腫、胸腔鏡手術、YAG レーザー

はじめに

転移性子宮筋腫はまれな疾患と考えられており、報告例も少ない。一般には低悪性度の子宮平滑筋肉腫であろうと考えられており、皮下への転移も報告されている¹⁾。今回胸腔鏡下に6個の転移性肺腫瘍を切除した1例を報告する。

症 例

患者：59歳、女性、主婦

主訴：胸部異常影

家族歴：特記すべきことなし

既往歴：1981年子宮平滑筋腫にて子宮全摘除及び右付属器切除。1990年骨盤内腫瘍の開腹生検を受け平滑筋腫と診断される。1993年さらに増大した骨盤内腫瘍(平滑筋腫)の全摘除および左付属器切除。

現病歴：1989年胸部 X 線写真異常を指摘されたが放置していた。その後上述の2度にわたる開腹手術を受けたが胸部写真上は大きな変化はなかった。CT などの精査の後当科に紹介された。

現症：身長145cm、体重45kg、血圧120/70mmHg、脈拍80整、呼吸16、下腹正中に手術創を認めるほかには異常な理学所見を認めなかった。

検査成績：血液一般検査、腫瘍マーカー、検尿、心電図、肺機能、腎機能などには異常を認めなかった。胸部単純 X 線写真で両肺に複数個の境界明瞭な腫瘍影を認めた(図1)。胸部 CT では、右 S2 に径15mm、S3 に8mm、S4 に10mm、S10 に10mm、左 S6 に2mm、S8 に10mm の合計6個の境界明瞭で均一な濃度を示す腫瘍影を確認できた(図2)。

図1 入院時胸部 X 線写真

手術：1994年1月11日に手術を行った。ブロンコキャスを挿管し全身麻酔下に左右いずれの片側換気もできる準備をした。まず左側臥位とし、右第8肋間中腋窩線に10mmのトロッカーをおきビデオカメラを挿入した。ついで第4肋間前腋窩線と第6肋間後腋窩線に12mmのトロッカーを挿入した。右肺を虚脱させると腫瘍はモッコリと突出するように見え、概ね容易に確認できた。接触型 YAG レーザーで腫瘍から5mm以上離すように切除した(図3)。出血の多い部分は ENDO-GIA や sutureing も併用した。手術創はすべて一次的に埋没縫合で閉じ、9Fr の穿刺型胸腔ドレーンを別の部位から挿入した。体位を交換して左側も同様に行った。手術時間は3時間40分、出血量は400mlで

図2 胸部 CT 写真

図3 術中写真：上方から把持鉗子，左からレーザーメスが見える

図4 約4週後の手術創

あった。術後は特に合併症を認めず、1月12日にドレーンを抜去し、1月19日に退院した。図4に手術創を示した。

病理組織像（図5）：Aは1981年に切除された子宮筋腫のもの、Bは1990年に生検された骨盤内腫瘍のもの、Cは1993年に切除された骨盤内腫瘍のもの、そしてDが今回切除された肺腫瘍のものである。いずれも紡錘形細胞が増生し束状に配列しており、あきらかな

leiomyomaである。細胞異型はなく、mitosisもほとんど出現せず、病理学的には良性と診断された。また肺腫瘍（D）には繊毛立方上皮で形成される管腔構造を見るがこれが巻き込まれた気管支か否かは不明であった。

考 察

病理学的には“良性”平滑筋腫と診断されても臨床的に肺転移が疑われる場合、どのような治療が選択されるべきであろうか。

図5 光顕組織像：HE染色×400

ホルモン療法が有効であったという報告が散見される^{1)~4)}。この腫瘍はホルモンレセプターがしばしば陽性になることが知られており⁵⁾、エストロゲンレセプターやプロゲステロンレセプターなどが有名である。この症例ではすでに両側卵巣切除がされており、外科的ホルモン療法がなされたと考えられる。しかしその後6カ月では腫瘍に変化は認められなかった。やはり治療効果の確実性という点で切除するのがよいと思われる。これまでに5個あるいは17個の多発腫瘍の切除の報告がある⁵⁾⁶⁾。この症例は両側にわたり6個の腫瘍が認められ、一般的には転移性肺腫瘍の切除のよい適応とはいえない。しかし、かなり発育速度が遅く根治の可能性のあること、6個すべてが極めて末梢に存在し、胸腔鏡手術などの縮小手術が可能なこと、肺からの二次転移を抑制できる可能性があることなどの理由で手術を選択した。

胸腔鏡手術は大開胸手術に比して侵襲が少ない⁷⁾ので近年非常に勢いで普及した。この症例のような肺の末梢の転移性腫瘍摘除には是非選択されるべき手技であると考え。その不器用さを補うための各種の機器機材も日進月歩の現況である。YAGレーザーも肺切

除、特にこの症例のような末梢型腫瘍切除には非常に有用な方法である。5mm程度の腫瘍切除なら出血や気漏はほとんど心配せずに可能であった。

結 語

1. いわゆる転移性子宮筋腫の1例を経験した。
2. CTで確認された6個の腫瘍すべてを胸腔鏡下に切除した。
3. 末梢型小型肺腫瘍の切除にYAGレーザーは有用であった。

文 献

- 1) 茂木 充, 高柳 昇, 山洞善恒他: プロゲステロン投与で肺腫瘍影の縮小をみたいわゆる Benign metastasizing leiomyoma の1例. 日胸疾患会誌 31: 890—895, 1993
- 2) Maheux R, Parent J, Samson Y, et al: Utilization of luteinizing hormone-releasing hormone agonist in pulmonary leiomyomatosis. Fertil and Steril 48: 315—317, 1987
- 3) Hague WM, Abdulwahid NA, Jacobs HS: Use of LHRH analogue to obtain reversible castration in a patient with benign metastasiz-

- ing leiomyoma. Br J Obstet Gynecol 93: 455—460, 1986
- 4) Ford JM, Pang J, Coutts J, et al: Metastasizing leiomyoma of the uterus. Aust NZ J Obstet Gynaecol 28: 154—155, 1988
- 5) Uchida T, Tokumaru T, Kojima H, et al: A case of multiple leiomyomatous lesions of the lung: An analysis of flowcytometry and hormone receptors. Jpn J Surg 22: 265—268, 1992
- 6) 近藤 薫, 水野武郎, 丹羽 宏他: 子宮筋腫手術10年後に発生した両側多発性肺平滑筋腫の1例. 日胸外会誌 36: 2131—2135, 1988
- 7) 栗原正利, 武野良仁: 自然気胸に対する胸腔鏡下ブラルーピング術の検討. 日呼吸器外科会誌 8: 460—464, 1994

A CASE OF PULMONARY NODULES OF BENIGN METASTASIZING LEIOMYOMA OF THE UTERUS RESECTED UNDER THORACOSCOPIC SURGERY

Mineo ASAOKA, Michio SASAKI, Hiroshi MASUMOTO and Akira SEKI

Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Okazaki City Hospital

A 59-year-old woman was referred to the institution because of multiple pulmonary nodules in November 1993. There was a previous history of undergoing hysterectomy for a hysteromyoma in 1981. Moreover, in 1989 she was pointed out abnormality on a chest X-ray film, but had not received any treatments. On admission CT visualized six subpleural nodules; four of the six nodules were right sided and the remaining two left sided. All nodules were well-defined.

Thoracoscopic resection using a laser knife for the tumors was very useful and comprehensive. Postoperative course was uneventful.